

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-2-3 文化芸術の振興
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	文化国際課文化振興室長 早弓 太	電話番号	0852-22-6776
----------	------------------	------	--------------

事務事業の名称	芸術・文化の情報発信・収集事業		
目的	(1) 対象	市町村、文化団体、文化施設、県民等	
	(2) 意図	文化団体の財政基盤や情報基盤を強化するとともに、県民に文化情報を提供し、文化活動の展開を容易にする。	
事業概要	国等の芸術文化に対する助成情報等を収集し、広く県民に周知し、県内の芸術文化事業の育成を図る。		

2. 成果参考指標

(1) 指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			情報誌「キャッチ」発行部数	目標値		12,000	12,000	
	発行部数	実績値	12,000	12,000	12,000	12,000		
		達成率		100.00	100.00	100.00		%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			一般財団法人地域創造による文化活動助成への県内申請件数	目標値		0.00	0.00	
	申請件数	実績値	0.00	0.00	0.00	0.00		
		達成率		0.00	0.00	0.00		%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	13,231	2,702
うち一般財源(千円)	10,618	65

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	⑤H27新規
---------------------	--------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成22年度から26年度の間、毎年度、平均4件の申請を行っている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

各種助成事業に関する情報を市町村や文化芸術団体等に周知することで、県民の文化芸術に関する興味を深め、鑑賞や参加する機会を増やし、ひいては自主的・創造的な活動の支援につながっている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
文化芸術活動の活発化や支援のためには、様々な視点からの手段を用いて広く情報提供する必要がある。
- ②困っている状況が発生している「原因」
県民が情報を入手する方法は多様化しているため。
- ③原因を解消するための「課題」
文書での照会にとどまらず、インターネット等を活用したりして発信するなど、効果的な手段を検討して県民に提供する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

文書での照会に併せて、メールでの情報提供等も併せて行う。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）